

救命処置 AEDを使った心肺蘇生法の流れ

強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を！



1 「大丈夫ですか」と声をかけ反応を確認する。

※死戦期呼吸（しゃくり上げるような途切れ途切れの呼吸）は心停止として扱う



3 10秒以内で胸や腹部の動きが普段通りであるか確認する。



5 ケースを開き、電源を入れ音声メッセージに従う。電極パッドを体に貼付ける。



6 心電図の解析時には体に触れないよう、周囲に指示をする。

① 反応の確認

② 大声で叫び応援を呼ぶ
(119番通報とAEDの手配)

③ 呼吸の確認

普段通りの呼吸をしているか

していない ↓

④ 心肺蘇生

- 直ちに胸骨圧迫を開始する
- ・強く(成人は少なくとも5cm、小児は胸の厚さの1/3)
- ・速く(少なくとも100回/分)
- ・絶え間なく(中断は最小限に行い、圧迫解除は胸がしっかり戻るまで。)
- 人工呼吸ができる場合は、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせを繰り返す。人工呼吸ができない又はためられる場合は胸骨圧迫のみ行う。

⑤ AED到着
(電源を入れ、パッドを貼る)

⑥ 心電図解析
電気ショックは必要か？

繰り返し

必要あり

ショック1回
その後、直ちに心肺蘇生を再開
5サイクル(2分間)

繰り返し

必要なし

直ちに心肺蘇生を再開
5サイクル(2分間)

観察 処置



2 「119番してください」「AEDを持ってきてください」と助けを求める。

気道の確保
回復本意(横向きで安定した体位にし救急車を待つ)



4 両手の指を互いに組み、胸の真ん中に片方の手の付け根を置き、「強く、速く、絶え間なく」圧迫する。

ポイント

- ・傷病者に覆い被さるよう垂直に圧迫します。腕が斜めになったり、肘を曲げたりすると、力が伝わりません。
- ・乳児は指2本で、小児は両手が片手で圧迫します。
- ・圧迫を緩めるときは、胸がしっかり戻るまで十分に力を抜きます。

A ネットワークなどの金属類は外さないといけなのですか？
Q ネットワークなどにパッドが触れないように注意してください。もし、簡単に外せるようなら外してからAEDを使用してください。

A ペースメーカーを埋め込んでいらっしゃる方にはどうしたらいいですか？
Q パッドをペースメーカーから3cm程度離してから貼ってください。

A 体がぬれていても大丈夫ですか？
Q 前胸部だけでもタオルなどで拭いてから使用してください。

A AEDに小児用パッドがありませんので、取り換えて使用してください。小児用パッドがないときは、成人用のパッドを代用しますが、その際パッドは胸と背中に貼ります。

A 子どもにも使っても大丈夫ですか？

沖永良部消防署
救急救命士
森 隼人 消防司令補



私が答えます！
AEDのこと
教えて救命士さん！